



第1学期終業式にあたり（式辞抜粋）

「夏休みは過ごし方によって通常の3倍の効果あり」

第1学期は、皆さんにとってどんな学期だったでしょうか。今学期は4月7日の始業式から始まり入学式や交流行事、高校1年生の大相撲観戦、そして3年振りの高校生の修学旅行、学園体育祭、一貫1年生の「干潟探究」、一貫2年生の「野外探究」、高校生の球技大会、高校3年生の「進学合宿」を予定通り実施することができました。皆さん、それぞれに楽しかったことや後悔など思いがあると思いますが、ぜひ今後活かしてほしいと思います。特に、6月1日に実施した「学園体育祭」では、約2000名の全校生徒が一堂に会し、その中での個々人の頑張りにより「学園の団結力」を醸成できたと思います。今後の行事については、従来とは違う形にはなりますが、それぞれの目的を達成できるように実施していきたいと思っています。安田祭については、有観客の予定ですが、感染状況を見ながら皆さんの「安全第一」を考え決定していきたいと思っています。

本年度にはいり、中学高校とも様々な制限下で、クラブの大会が実施されました。それぞれが決して恵まれた環境とは言えない状況で、大会に臨みました。その中で、高校男子卓球クラブが4年連続20回目のインターハイ出場を成し遂げました。7/29～8/3に愛媛県宇和島市総合体育館で行われ、本校は団体・個人・ダブルスで出場します。活躍を祈念します。現在大会中のクラブについては、結果は第2学期始業式で報告します。それぞれのクラブが悔いのないように全力で頑張ってください。

さて、夏休みの過ごし方ですが、本年度の夏休みは7月21日から8月24日までの35日間となります。夏期講習やクラブ活動があり、多くの時間を学校で過ごす人も多いでしょう。特に、一貫部6年生と高等部3年生にとっては大事な時期になります。「夏を制するものは受験を制する」と言います。「何に優先順位をつけて、いかに充実した夏休みを計画的に過ごすか」ということです。夏休みを有意義に過ごすことによって、通常の日々の3倍の効果、約100日分つまり3ヶ月分の効果があると言われています。逆に、気を抜いていると差がついてしまうことにもなります。自分の計画や考えでまとまった時間を作れる絶好の機会でもあるので、しっかり力を蓄えることを願っています。このことは、他学年の皆さんにも当てはまります。勉強やクラブ活動など決して受け身にならず、自分から進んで計画的に取り組めば、秋には飛躍的な力を発揮できるはずですのでこの期間を有効に使ってもらいたいと思います。

7月に入り新型コロナウイルスの感染者が増加している状況です。引き続き感染防止のため、「3密を避けた行動」「うがい手洗いの励行、マスクの着用」といった基本の徹底をお願いします。また、「自分がかからないようにする」ことはもちろん「他人に感染させない」ことが、みんなのためにできることです。「自分は感染しているかもしれない」という意識で行動することが大切です。家族や友人など身近な人が濃厚接触者であったり、その可能性のある場合などは、必ず担任の先生に連絡してください。なお、「マスクの着用」についてですが、校内では「マスクの着用」は現在のように全員がおこないます。クラブ活動などで着用の必要がない時は担当の先生から指示があります。それまでは「マスク着用」をよろしくをお願いします。

今年は、暑い夏になると言われています。くれぐれも健康や安全に留意して皆さん一人ひとりにとって充実した夏休みになることを期待します。

校長 稲村隆雄